産業廃棄物の収集・運搬

使い終わったものを活用して資源をむだにしない社会を支えます

もっと、くわしくみてみよう!

職場見学可能です

鉛金株式会社

所在地／御殿場市板妻1-1　TEL.0550-88-2581　https://enkin-bt.co.jp
創業／1988（昭和63）年10月　従業員数／98名（2026年9月現在）

私たちの仕事

自動車などで使い終わったバッテリーをはじめ、金属、タイヤ、車のバンパーなどを回収・買取りしています。集めた廃棄物は分別・解体し、適切に処理できる会社へ届けます。処理された資源は、さまざまなメーカーで新しい製品をつくるための材料として使われます。自動車バッテリーは、ほぼ100パーセントをリサイクルしていて、全国各地から資源を集め、年間3万トン以上の資源を新しいものへつなげています。



▲本社

？ 産業廃棄物リサイクルの仕事とは?

いらなくなった物をもう一度役立てる

廃棄物の中には、鉄や金属など役立つ材料がたくさんあります。それらを再び使える資源へと生まれ変わらせ、次のものづくりにつなげることで、廃棄物を減らし限りある資源を守ります。



バッテリーを資源に



使い終わったバッテリーを回収・分解し、取り出した材料を新しいバッテリーの材料として活用します。

タイヤを新しい使い道へ



回収したタイヤのゴムの部分を細かく加工して再生燃料にし、金属部分なども資源として再利用します。

車のバンパーも資源に



回収したバンパーの金属部品などを取り外して細かく加工し、新しいバンパーの材料として再利用します。

？ どのような仕事の順序なの?

使ったあとも、地球にやさしく戻せる仕組みをつくっています。



1 回収する

自動車販売店などから、使い終わったバッテリー、金属、タイヤ、バンパーなどをトラックで回収します。



2 分ける

運んだものを、バッテリーや金属などの種類や状態に合わせて分別します。



3 解体・加工

必要に応じて部品を取り外したり、タイヤやバンパーなどを機械で細かくしたりします。



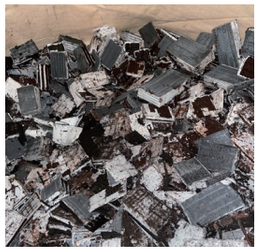
4 資源として整える

再び材料として利用しやすいように、余分なものを取り除いて整えます。



5 次の会社へ届ける

整えられた資源を、バッテリーや金属などを扱う会社へ届けます。



6 新しく材料になる

取り出された材料が、新しいバッテリーなどをつくる材料になります。使い終わったものが、次のものづくりにつながります。

働く人の声

仕事のやりがいを聞いてみました。

解体(バッテリー)　I さん

廃バッテリーから鉛を取り出してリサイクルし、社会の裏方として、生活に欠かせないインフラを支えている実感があります。

回収スタッフ　M さん

トラックで回収し、目標を達成するとやりがいを感じます。クレーンやフォークリフトを操作したりするカッコイイ仕事です。

解体(金属類)　E さん

各地から回収した金属製品を解体し、材質ごとに分別しています。新しい建物や製品の材料に使われることがやりがいです。